

令和 7 年度 セルフヘルプ活動普及講座

精神疾患のある家族とともに生きるということ ～セルフヘルプ・グループの語りから学ぶ～

さまざまな困難や生きづらさを抱える人たちにとって「ひとりじゃない」と実感できる場や、マイノリティな悩みを分かち合える仲間と出会えるセルフヘルプ・グループには大きな力があります。

しかし、セルフヘルプ・グループに集う多くの人々は、脆弱とみなされたり、偏見を持たれたりする中で、止むに止まれぬ状況で活動をスタートさせています。

本講座では、精神疾患のある方を家族に持つという意味での当事者として活動しているセルフヘルプ・グループに話を伺います。自身の経験に基づいた語りからセルフヘルプ・グループをつくらざるを得なかった背景を社会的な視点から学びます。

日 時： 令和 **8** 年 **3** 月 **10** 日 (火) 13:30～16:30
(受付は 13:00～)

会 場： 神奈川工科大学 IT エクステンションセンター 3 階 302 号室
(厚木市中町 3-3-17)
*小田急小田原線 本厚木駅 北口より徒歩 4 分

定 員： 50 名 *定員になり次第締め切ります。

参 加 費： 無料

参加対象： セルフヘルプ・グループとの関わりがある対人援助職(PSW、MSW、相談支援専門員)、社協職員、行政職員、民生委員・児童委員、その他セルフヘルプ・グループの支援に関心のある人

プログラム・申込方法等は裏面をご覧ください



【プログラム】

🍀 はじめに(オリエンテーション)

🍀 課題提起「当事者から教わる対人援助職に求められる視点」

- 中越 章乃 氏(東海大学 健康学部 健康マネジメント学科 講師)

🍀 セルフヘルプ・グループの語り「私はなぜセルフヘルプ・グループをつくったのか」

- ^{もみやま} 縦山 枝里 氏 ひとりやないで！代表
(統合失調症の親と向き合う子ども向け家族会)
- 佐藤 信彦 氏 横浜げんき会 代表
(精神疾患の兄弟姉妹をささえる「きょうだいしまい」の会)

🍀 講義「なぜセルフヘルプ・グループを続けているのか」

- 堀越 由紀子 氏(星槎大学 共生科学部 専任教授)

🍀 グループワーク(学び、気づきの共有など)

🍀 まとめ(本講座を通しての学び)

【申込方法】

令和8年3月3日(火)までに、

右記二次元コードまたはURLよりGoogleフォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/zQBkZn4jq6NCKefe9>

*Googleフォームの使用が難しい場合は、
メール(kvc@knsyk.jp)または、電話(045-312-4813)にてお問合せください。



- ・大雪や自然災害時等の状況により、開催方法を変更する場合については、かながわボランティアセンターホームページを通じてお知らせいたします。
- ・化学物質過敏症の方等への配慮のため、セミナー当日、香水、柔軟剤、タバコ等、においの強いものはお控えください。万が一使用されていた際には、後ろの席にお座りいただく等、ご協力をお願いする場合があります。
- ・当日、講座の内容の記録(メモ)をする際は、個人情報に配慮していただきますようお願いいたします。

～(福)神奈川県社会福祉協議会はセルフヘルプ・グループの活動を支援しています～

かながわボランティアセンターホームページのトップページにある「セルフヘルプ活動」のコンテンツ「セルフヘルプ・グループのご紹介」をクリックすると、当センターで活動するグループの一覧が表示されます。その他、本会の取り組みも掲載されています。

URL⇒ https://knvc.jp/self_help/self_help_03/

